★ 提案 66 の賛成意見 ★

California 州で選出された法執行機関の指導者、警察官、最前線の検察官、そして殺人事件の被害者遺族は、California 州の死刑制度を改革するために、皆さんが提案 66 号に賛成の投票をすることを要求しています！

私たちは、California 州の現在の死刑制度が破綻していることに同意しています。. 最も凶悪な犯罪を犯した死刑囚が、限りない控訴により判決をお遅らせ、30 年間にもわたり収監されることで、納税者に数億ドルもの負担を強いています。

しかし、こうである必要はありません。

問題を解決するには、California 州の死刑を廃止することでなく、変更することが必要です。

解決方法は、提案 66 号に賛成の投票をすることです。

提案 66 号は、無実の人に死刑が執行されることを防ぎながら、死刑に関する控訴制度をより迅速に処理できるように書かれました。

提案 66 号では、最悪の殺人犯は最も重い判決を受けることになります。

提案 66 号は、被害者遺族に終結をもたらします。

提案 66 号は、公共の安全を保証します。これらの残忍な殺人犯は二度と社会に出る機会を与えられません。

提案 66 号により、凶悪な犯罪者は、もはや 30 年以上にわたり納税者の費用負担において死刑囚として収監されることはなくなり、納税者の負担は減ります。

提案 66 号は、制度を熟知している最前線の死刑検察官によって書かれました。彼らは制度が破綻していること、そしてどのように修正するべきかも知っています。複雑に聞こえるかもしれませんが、改革は実際には非常にシンプルです。

提案 66 号の主な変更点は次の通りです：

1. すべての州へ控訴は、5 年に限定されます。
2. 死刑を宣告されたすべての殺人犯には、特別控訴のための弁護士が即時に割り当てられます。現在、弁護士の割り当てだけで五年またはそれ以上の時間がかかっています。
3. これらの控訴を処理するために必要な弁護士のプールが拡張されます。
4. 死刑裁判を取り扱った経験がありそれらを熟知している裁判所が、最初の控訴を処理します。
5. 州最高裁判所はその権限として、制度を監視し、被告人の権利を保護しながら控訴が迅速に処理されていることを保証します。
6. 州矯正局（刑務所）は、死刑囚の収監施設を改革します。これらの残忍な殺人者から特権をはく奪し、百万ドル単位で経費を節減します。

California 州元財務局長の Mike Genest 氏によると、すべて合わせると、これらの改革により California 州の納税者の負担は $30,000,000 軽減され、同時に死刑制度が再び正しく機能するようになします。

CALIFORNIA 州には、正しく機能する死刑制度が必要です

死刑判決は賢明に、そしてまれに下されるのみであり、非常に悪質な殺人犯に対してのみ下されています。

California 州で死刑の対象となるためには、「特殊な状況」における第一級殺人で有罪となる必要があります。

特別な事情には次のケースが含まれます：

- 被害者を強姦し、拷問にかけた殺人犯。
- 子供を殺害した殺人犯。
- 複数の殺害に関与した殺人犯 / 連続殺人犯。
- テロリストが犯した殺人事件。憎悪犯罪の一環とした場合、または警察官を殺害した場合。

毎年、California 州では約 2,000 件の殺人が発生します。わずか約 15 件の死刑判決が下ってます。

しかし、これらの恐ろしい犯罪が発生し、陪審員が全会一致で有罪と判断し、さらにそれとは別に、全会一致で死刑を推奨し、控訴が五年以内に確認されて初めて殺人犯の死刑が執行されます。

California 州を保護し、被害者に終結を提供し、納税者の何百万ドルという負担を軽減しましょう。

詳細は、*www.NoProp62YesProp66.com* をご参照ください。

そして、法執行機関と被害者遺族に賛同し、提案 66 号に賛成の投票をしてください！

JACKIE LACEY、Los Angeles 郡の地方検事

KERMIT ALEXANDER、複数の殺人被害者の家族

SHAWN WELCH、代表

コントラ・Contra Costa 郡保安官代理協会

★ 提案 66 の賛成意見に対する反論 ★

提案 66 号は、貧弱に構成された、無駄な費用のかかる実験であり、CALIFORNIA 州において無実の人に死刑を執行するリスクを高め、政府による官僚手続きの階層を追加し、死刑のケースにおいてさらなる裁判の遅延を発生させます。

** この措置をご自分でお読みになってください：州の無党派立法分析事務所によると、この措置により納税者の負担が数千万ドル増大するとのことです。

提案 66 号は本当の改革ではありません。専門家の提案 66 号の実態に関する意見は次の通りです：

- California 州において、無実の人に対して死刑を執行するリスクが高まります
- 死刑囚の弁護にかかる費用に関連して納税者の負担が増大します
- 州は何百人もの新規の弁護士を雇う必要があります
- 納税者負担による新しい死刑囚用施設の建設につながります
- 郡裁判所の負荷が増加し、経験の浅い裁判官に死刑判決を強います
- 混乱の規定に挑戦する弁護士によって裁判費用を増大させます

提案 66 号は、特別利益団体が改革を主張しつつ、その力を濫用し議題を押し付ける典型的な例といえます。提案 66 号を支持者はだれかわかりますか：刑務所の制度により多くの資金の投入することに関心のある刑務所員組合と自分のキャリアを進めるためにこのイニシアチブを利用しているご都合主義の政治家達です。

専門家は次のことに同意しています：提案 66 号は貧弱に構成された、混乱を招くイニシアチブであり、California 州死刑制度に遅延とコストの増大を引き起こすだけです。

150 以上の無実の人々が死刑を宣告され、このような貧弱な法律によって死刑が施行されていることを忘れないでください。

California 州には本当の改革が必要です。提案 66 号はその答えではありません。

www.NOonCAProp66.org

GIL GARCETTI、地方検事

Los Angeles 郡、1992 ～ 2000

LADORIS CORDELL 判事、（退職）

Santa Clara 郡上級裁判所

HELEN HUTCHISON、代表

California 州女性有権者連盟

本ページに印刷されている反対意見は、著作者の意見であり、公的機関によってその正確性については調査されていません。

★ 提案 66 の反対意見 ★

提案 66 号は納税者の数千万ドルを浪費します。

150 以上の無実の人々が死刑を宣告され、このような貧弱な法律によって死刑が施行されているという証拠があります。

提案 66 号は混乱させる内容で、貧弱な構成のため、その社会的影響を理解することは困難です。分かるわかっていることは、これにより政府による官僚手続きの階層を追加し、遅延の発生させ、納税者の税金をさらに浪費し、California 州において無実の人に死刑を執行するリスクを高めます。

専門家はこれに同意しています：提案 66 号には大きな欠陥があります。

** 提案 66 号は納税者に何百万ドルものコスト負担を強いています。

無党派の分析家によれば , 提案 66 号はさらに、「用途不明」のコストにより「毎年数千万ドル」を要することが分かっています。*www.NoOnCAProp66.org/cost* に掲載された LAO 報告書をお読みください。

専門家によると、提案 66 号は：

- 刑務所における費用を増大させ、学校、社会的サービス、およびその他の優先順位が高い項目がその犠牲となっています。
- 死刑囚の弁護にかかる納税者の負担を増大させ、税金で賄われる弁護士を 400 人も新規で雇う必要があります。
- 納税者負担による新しい死刑囚用施設の建設につながります。このイニシアチブは、California 州のどこにでも、新しい刑務所に死刑囚を収容することを許可します。
- 一連の貧弱に構成された規定に抗議する弁護士によって訴訟費用の増大につながります。

「提案 66 号には欠陥が多すぎ、California 州の納税者にどれほどの費用負担がのしかかるかを知ることはできません。」—*John Van de Kamp、California 州元司法長官。*

** 提案 66 号は、California 州が無実の人に死刑を執行するリスクを増大させます。

すべての人が、提示されたすべての証拠に基づく公平な裁判を受けられることをほしょうするかわりに、この措置は、重要な法的安全機能を無効にし、致命的なミスを容易に犯していまう危険性につながります。

この措置は、無実の人々に死刑を執行している Texas のような州の法律をモデルにしています。Texas 州で死刑が執行された Cameron Willingham と力 Carlos de Luna の両名のような人々です。

専門家によれば、彼らは無罪であったと考えられています。

提案 66 号は：

- 裁判所で無実を証明するための新たな証拠を提示する能力を制限します。
- 優秀な弁護士を雇う経済力のない人々を間違いの危険に晒します。
- 死刑判決を地域の裁判所へ移管すれば、地域の裁判所は機能しなくなり、官僚手続きの階層を追加し、難解なケースを経験の浅い裁判官や弁護士の手に委ねることになります。これは大きな間違いにつながる可能性があります。

「誰かの死刑された後で無実が判明した場合、時間を巻き戻すことはできません。」—*裁判官 LaDoris Cordell、Santa Clara 市（引退）。*

** 混乱させる内容で、貧弱に構成されたイニシアチブは遅延を発生させるだけです。

提案 66 号は見当違いな実験であり、裁判所および刑務所制度に関連する納税者の負担を百万ドル単位で増加させ、貧弱に構成された改革により California 州をリスクにさらします。

SF Weekly によると、「イニシアチブの 16 ページをめくってみると、大学生の第一回目の草案を見ているような感じです。この表現はあいまいで、焦点が定っておらず、投げやりな印象を与えます。」

政府の官僚手続きの階層を追加し、コストを増加させる代わりに、私たちに必要なのは本当の意味での司法制度の改革です。提案 66 号はその答えではありません。

「刑務所制度に無謀で、高いコストを伴う変更を加える代わりに、私たちに必要なものは、犯罪を減少させ、被害者を支援するための賢い投資なのです。」—*Dionne Wilson、職務中に殺害された警察官の未亡人。*

JEANNE WOODFORD、刑務所員
California の死刑囚監房、1999 ～ 2004 年
FRANCISCO CARRILLO JR.、冤罪者 Los Angeles 郡
ANTONION R. VILLARAIGOSA 閣下、市長
Los Angeles 市、2005 ～ 2013 年

★ 提案 66 の反対意見に対する反論 ★

提案 66 号は、California 有数の犯罪検察官、刑事司法法律財団、もっとも優秀な法律の専門家によって細心の注意を払って書かれました。この人々は、その経験から死刑制度を廃止するのではなく、何を変えるべきかを知っています。

提案 66 号に反対する死刑反対過激派は、それが制度を修正することを知っていますが、それを阻止するためなら何だって言います。だまされてはいけません。

提案 66 号は死刑制度改革であり、被告と被害者遺族の両方に公平です。現行制度では、被告は弁護士が割り当てられるまでに 5 年待つ必要があり、裁判を遅らせ、控訴に悪影響を与え、被害者遺族にとって事件の終結を遅らせます。提案 66 号はプロセスを合理化するし、関係者すべてに公正さを保証します。

現行制度では、California 州の最も残忍な殺人犯 - 連続殺人犯、大量殺人犯、子供を殺害した殺人犯、および被害者を強姦し拷問にかけた殺人犯、老衰で死ぬまで生きながらえ、納税者は食事、健康管理、権限と無制限の控訴の費用を負担することになります。

提案 66 号は California 州元財務局長の Mike Genest 氏によると、制度の改革により、納税者の負担を年 3 千万ドル軽減できると考えられています。何十年にもわたり収監し何百万ドルもの費用をかける代わりに、死刑囚には法的手段を公正に適用する期間として五～十年の控訴期間が与えられ、同時に無実の人に誤って死刑が実行されないことを保証します。

死刑の廃止ではなく変更を目指す提案 66 号に賛成の投票を行い、正義を貫いてください。

詳細は、*www.NoProp62YesProp66.com* をご参照ください。

ANNE MARIE SCHUBERT、Sacramento 郡の地方検事
SANDY FRIEND、殺人被害者の母親
CHUCK ALEXANDER、代表
California 州矯正平和公務員協会